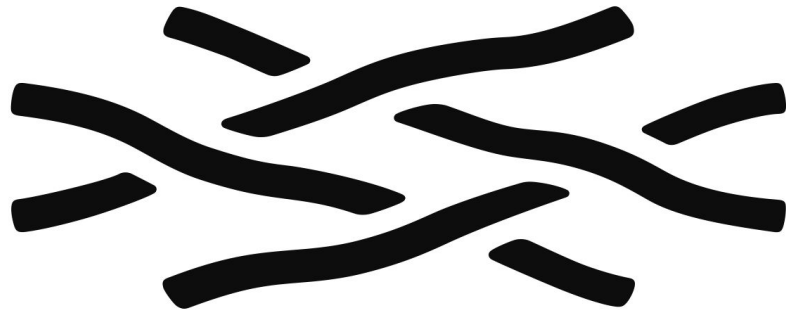




AMU WORK



海士町

日本海の島根半島の沖合約60kmに浮かぶ
隠岐諸島の四つの有人島のひとつ
中ノ島を「海士町」と言います。
1島1町の小さな島です。

面積 33.43km²

人口 2,310人

隠岐ユネスコ世界ジオパーク

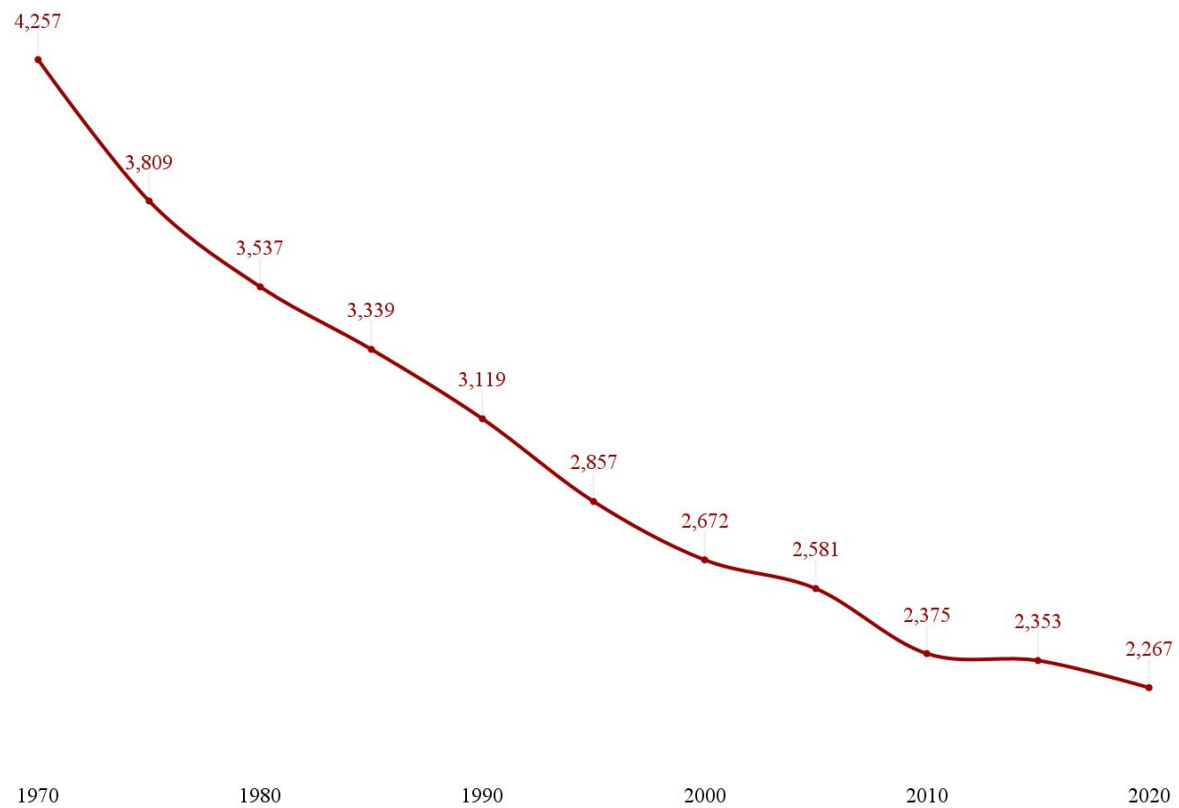


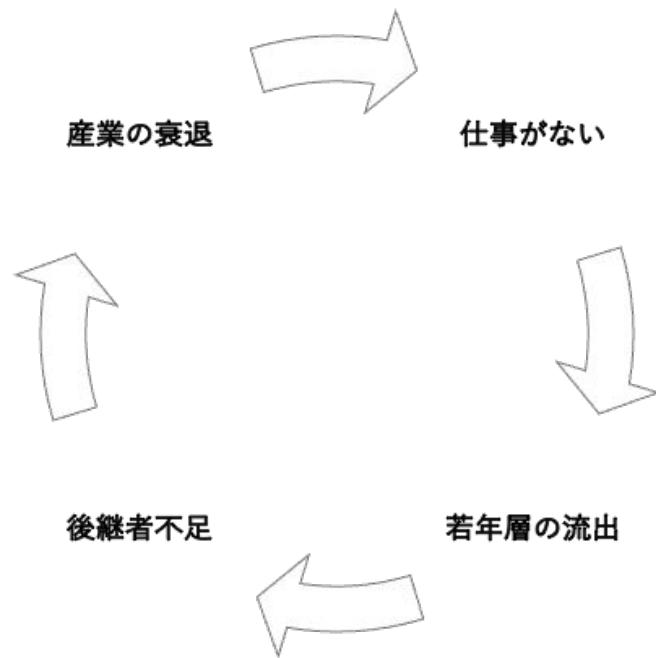


遠流の島

承久の乱(1221年)でご配流の身となられた
後鳥羽上皇は在島19年有余、
この島でご生涯を終えられました。

制度の背景、これまでの取り組み



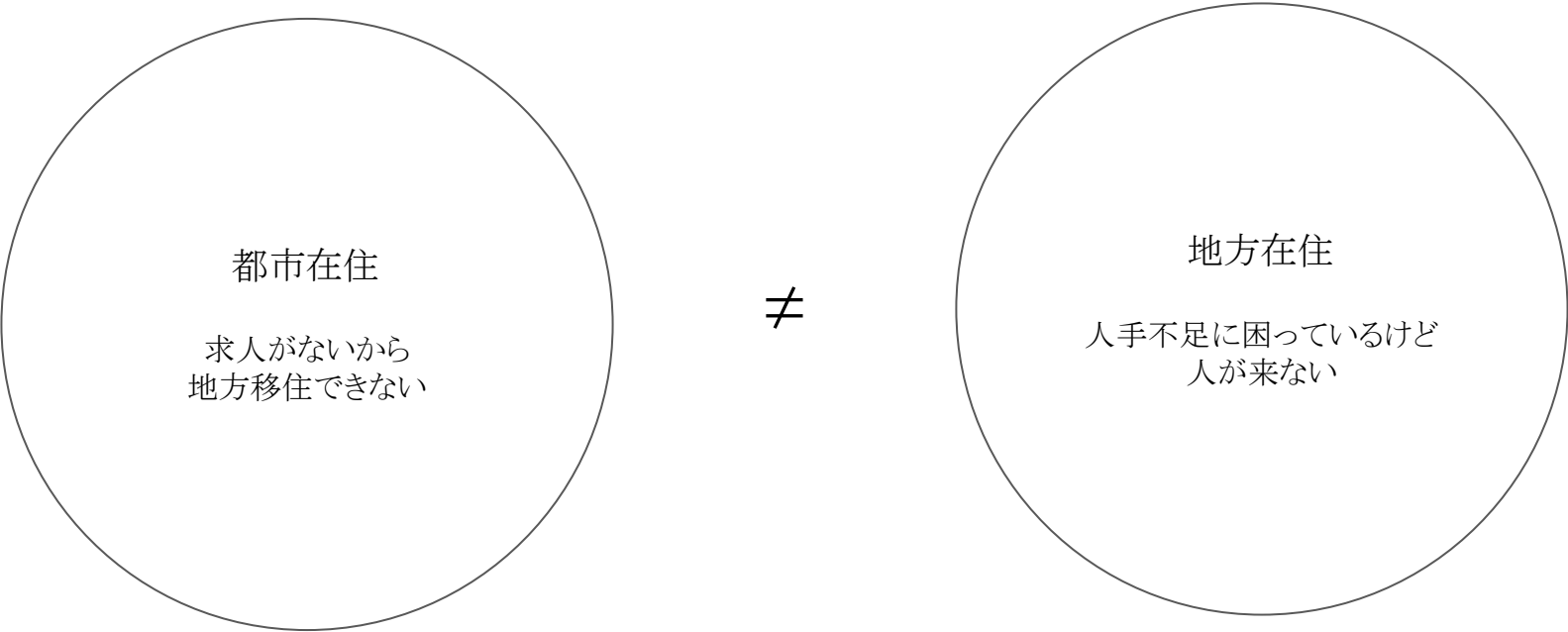


地域の負のスパイラル
※海士町の場合です。

時代の流れ

一方で地方移住への意識の高まりがあります。

1. 田舎暮らしへの憧れ
2. できそうな仕事があれば、地方へ



都市在住

求人がないから
地方移住できない

≠

地方在住

人手不足に困っているけど
人が来ない

就職・転職

第一次産業は繁忙期と閑散期の差が大きいため、通年雇用が難しい。

また、地方移住の求職者のほとんどが

農業・漁業などの第一次産業を希望するため、

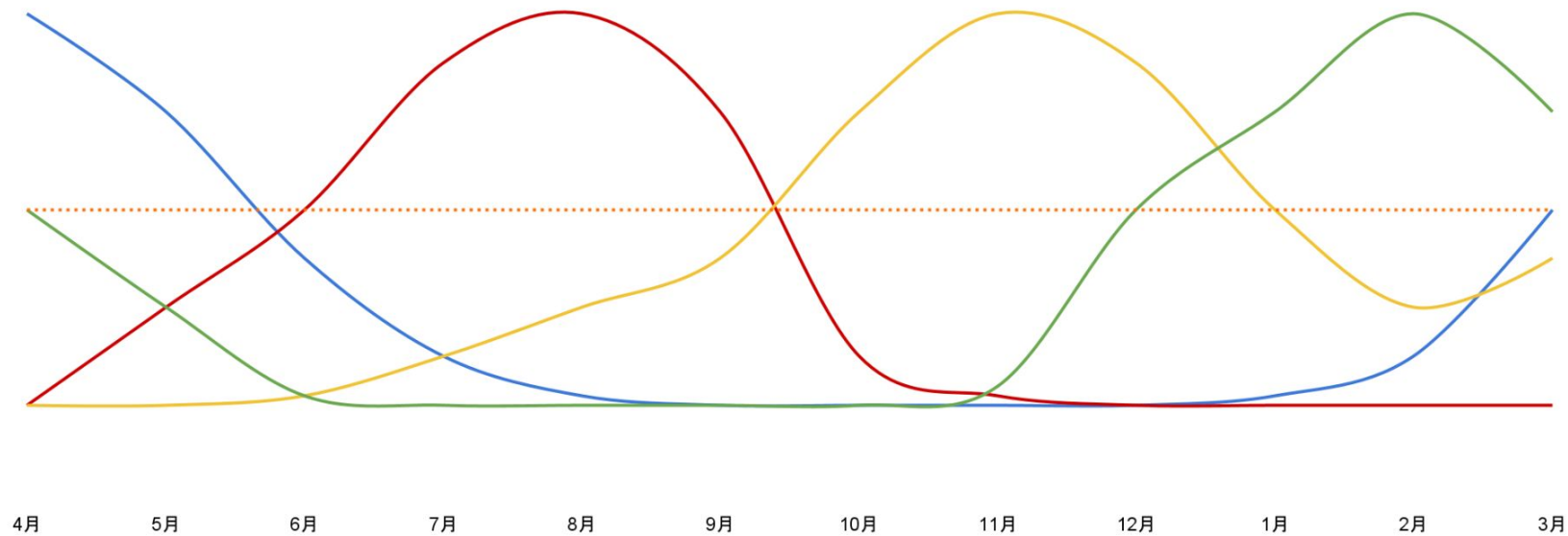
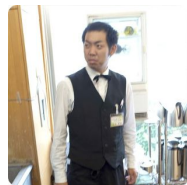
第二～三次産業への応募は少ない。

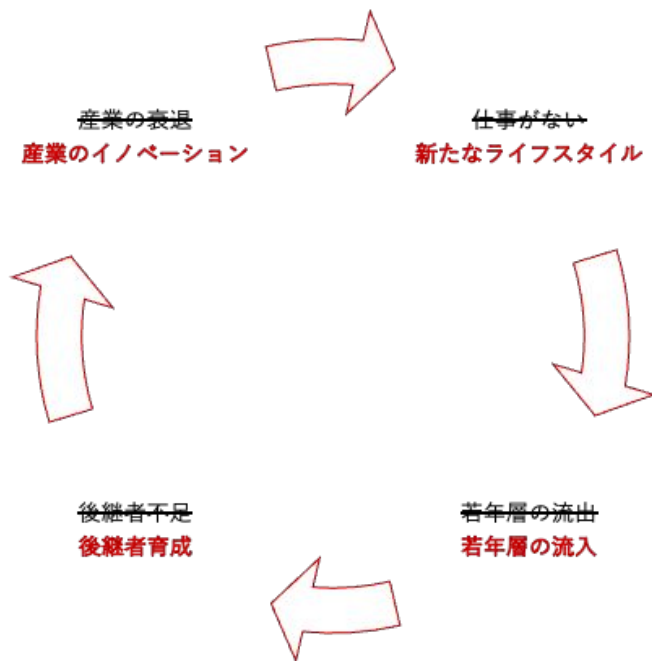
独立・企業

知らない土地での自営という観点から、

未経験者の参入のハードルが高いのが現状。

→地方移住は業種では選べない、選ばれない。





ライフスタイルの提案により、
負のスパイラルをプラスに。

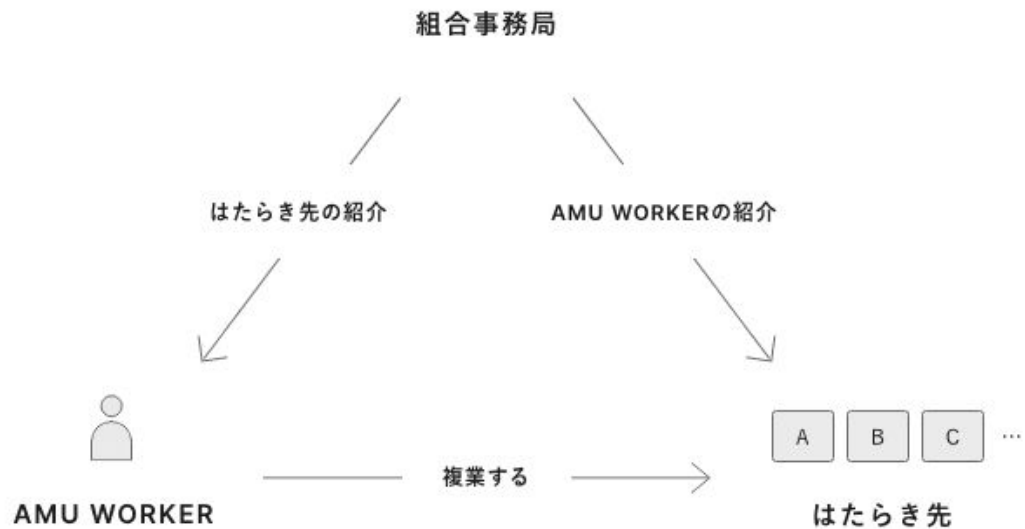
特定労働者派遣の廃止

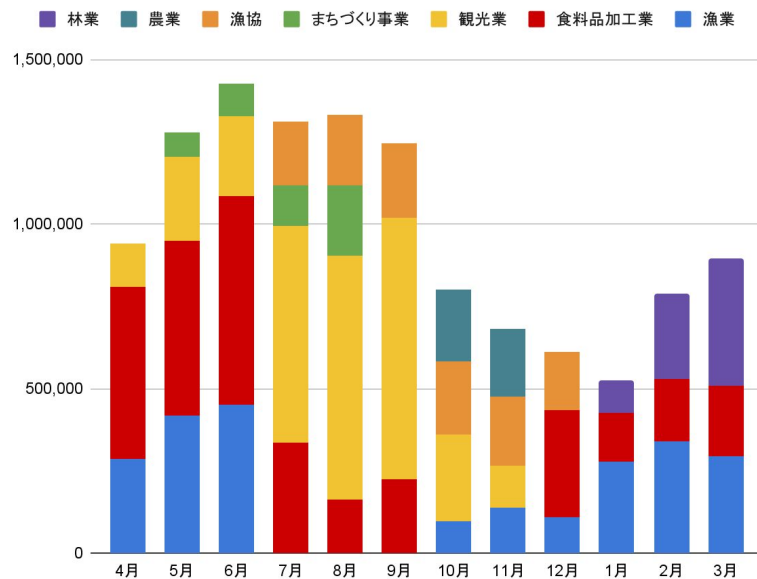
労働者派遣法の改正により、特定労働者派遣事業は廃止。
届出で実施できていたものが許可制となり、海士町観光協会
は様々な許可要件を満たせず、あえなく事業を終了。



海士町複業協同組合 創立総会

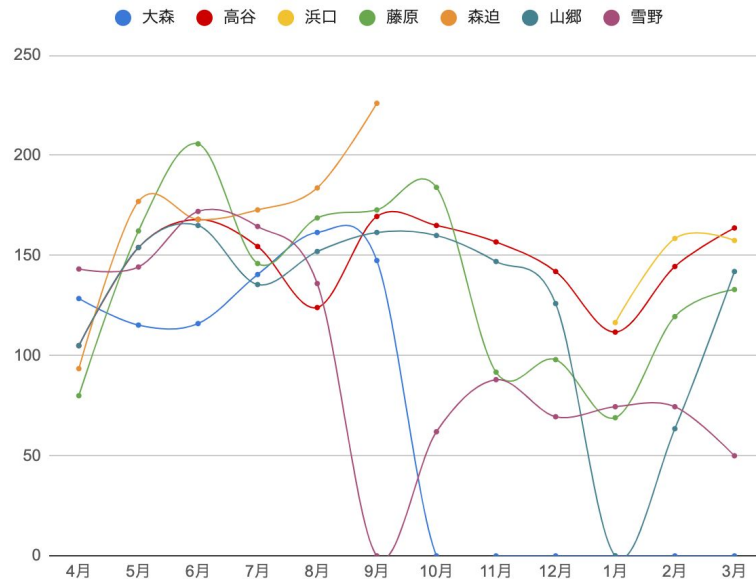
海士町複業協同組合





AMU WORKERのはたらき先

現在、はたらき先は20以上に増えていますが、昨年度は職員全員で合計7ヶ所のはたらき先で勤務をしました。



AMU WORKERのはたらき方

AMU WORKERがそれぞれ自分らしいはたらき方の実現を目指し、実践しています。

AMU WORKER



東京都



奈良県



東京都



神奈川県



埼玉県



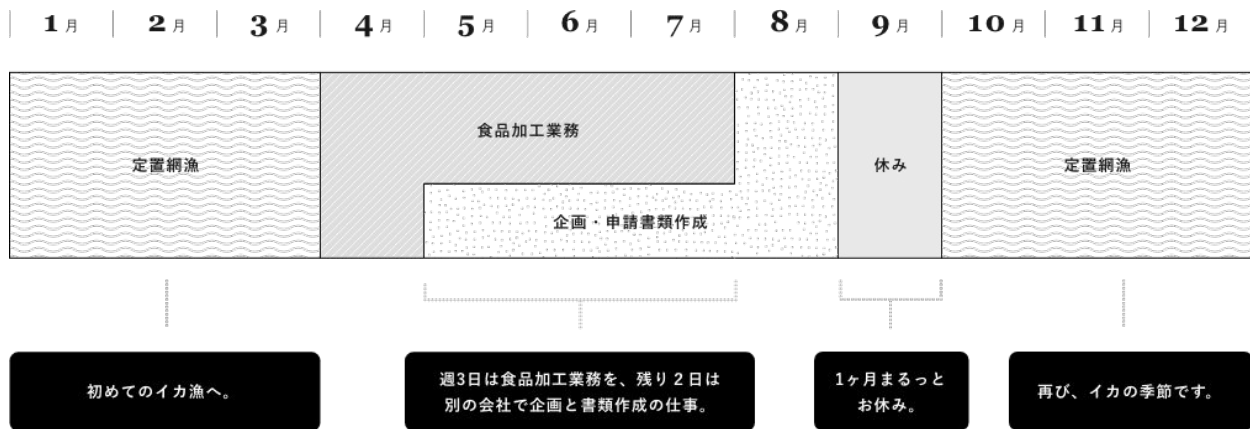
茨城県



福岡県



東京都





1 漁師になりたい(漁師)



2 魚のことをもっと知りたい(漁協)



3 1ヶ月間の休息



4 海は森が作る(森林組合)



5 地球のことが気になる(ジオパーク推進機構)



4月～6月



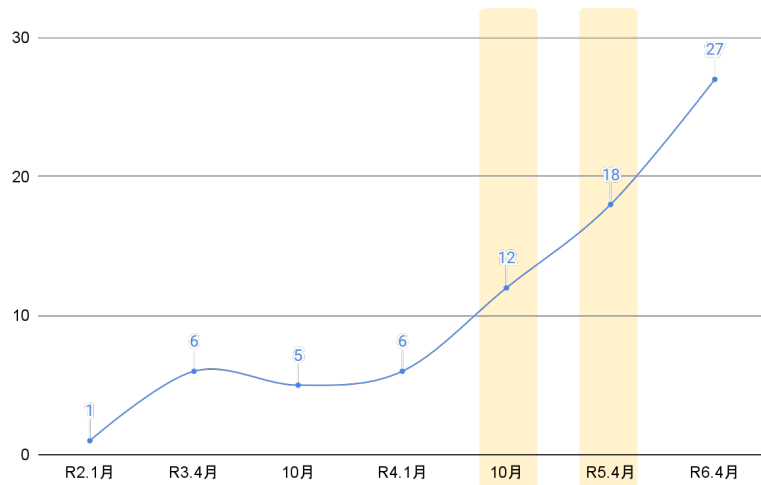
7月～12月



2月～6月

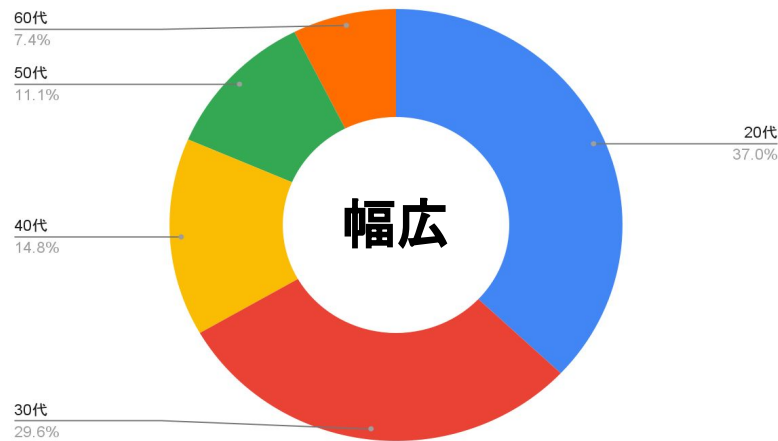


今後



AMU WORKERの数

現在AMU WORKERは7名(うち1名は待機中)ですが、職員数はどんどん増やしていきます。今年度は6名増員を目指しています。



年齢構成

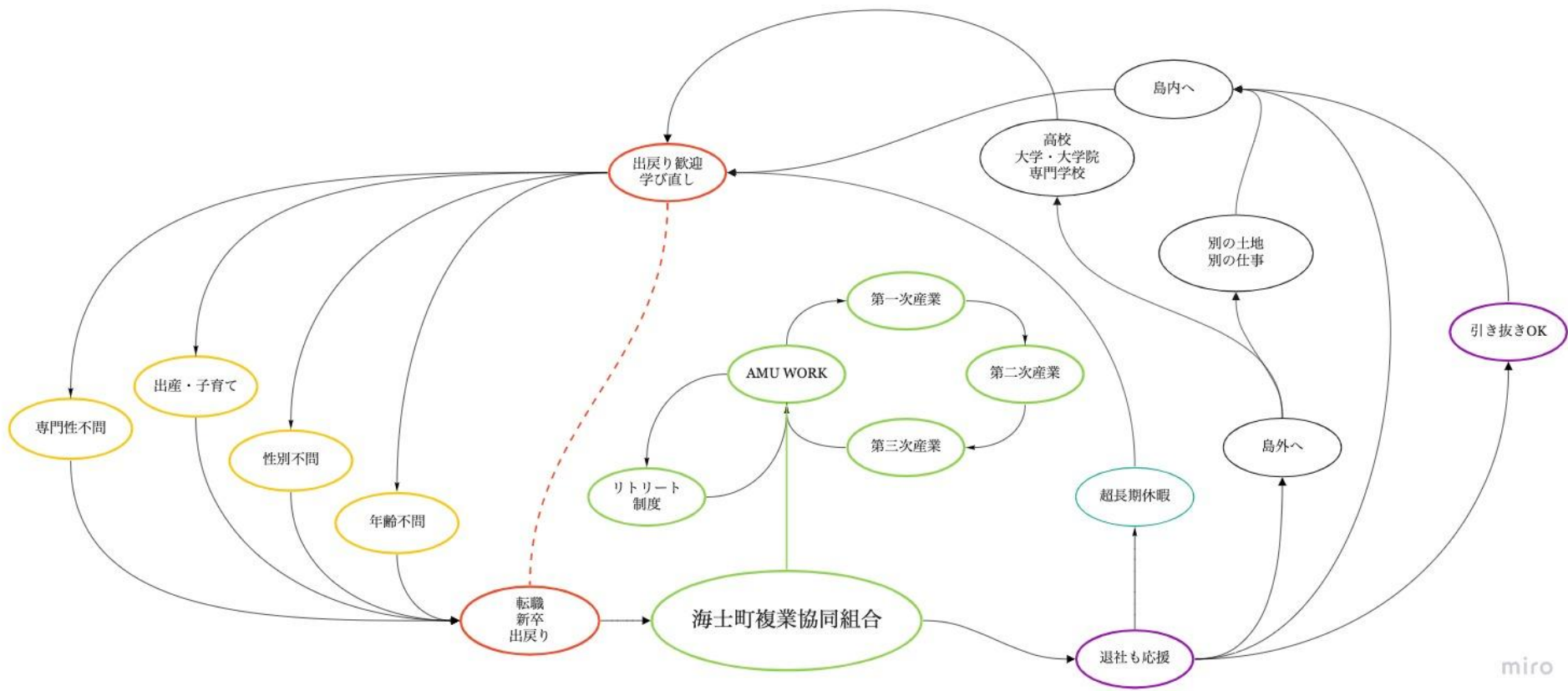
現在20代が5名(うち新卒3名)、30代が1名と比較的若い年齢構成となっていますが、今後は幅広い年齢層の組織構成を目指します。

引き抜きや退職について

挑戦(退職)を決めた職員を快く見送ります。
低い退職率が是ではなく、
組織の新陳代謝を促し
変化し続ける組織を作るという観点から、
一定の退職率はむしろ是としているからです。

また、卒業者が様々な場で活躍していくことは
喜ぶべきことであり、[出戻り](#)も歓迎します。





	性別	年齢	専門性	地域
<u>ステージ3</u> ビジョンが実現	行動に蓋をする思考パターンが受入側、職員双方にない状態	年齢による選択肢の制限がない状態	多様性のなかに専門性がある状態	持続可能な地域だと想像できる状態
<u>ステージ2</u> 具体的な課題に向かう	全てのはたらき先に性別関係なく働いた実績がある	幅広い世代が雇用されている	新卒、未経験、専門性のある職員が共存している	Uターン、出戻り、島出身の方が雇用されている
<u>ステージ1</u> 仲間づくりと挑戦	コンピテンシーテストの活用	多層化する年齢層の組織全体のサポートと理解	失敗事例100個	はたらき先の情報収集、情報発信